

平成30年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価		— 2 —
① 重点項目	生活指導	
② 重点課題	基本的な生活習慣の確立 学校生活および社会生活への適応	
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本的な生活習慣の自己管理」「身なりを正す」「マナーを守り公共心を身につける」等を指導重点として規律と秩序ある校風作りを進めている。</li> <li>・毎朝、通学駅や玄関前での挨拶や服装指導を行っているが、コミュニケーションをとることが苦手な生徒や制服を着崩している生徒も見られ、根気強い指導が必要である。</li> <li>・携帯電話・スマートフォンの使用違反者数は、年間延べ数でH29年度は303件とH28年度より90件増加している。違反を見逃さない教員の指導のあり方を確認し、保護者をまき込んだ指導のルールを強化しながら校内での取り扱いを徹底している。また、ネットパトロール指導は、激減しているものの重大犯罪に関わることもあることから引き続き指導が必要である。</li> </ul>	
④ 達成目標	(1) 定期頭髪服装指導に向けて、生徒の意識改善を促す指導の充実	(2) 携帯スマートフォンの使用ルール違反者(校内の使用やネットパトロール指導)の減少
	再指導生徒10%未満	前年比20%の減少(件数)
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に生徒と保護者へ指導日を連絡し、家庭での協力を依頼する。計画的に頭髪服装の自己管理が出来るように生徒の意識改善を促す。</li> <li>・毎朝、挨拶を交わしながら生徒とのコミュニケーションをとり指導を行う。</li> <li>・進路指導と絡めて、社会人としての在り方を考えさせ、生徒自身の自覚を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員の共通理解を図りながら、統一した指導を行う。</li> <li>・違反した生徒は、家庭に連絡し、学校の指導方針を理解してもらい協力を得る。違反累積回数により特別指導を行う。</li> <li>・ネットトラブルに関する最新の情報を生徒、保護者に提供し、使用に関する意識の向上を図る。</li> </ul>
⑥ 達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の定期頭髪服装指導で再指導を必要とした生徒は、1学期までは9%に収まっていたが2学期以降は11%となっている。一部の生徒ではあるが、1、2年生は夏休み後、3年生は進路決定後に多くなっている。短期の見通しを持たせる指導だけでなく、将来を見据えた指導も必要である。</li> <li>・平成30年度3学期1月までの段階で、スマートフォンの使用違反延べ数は315件で、昨年同時期より12件増加している。全体への指導に加え、学年との協力体制や生徒1人1人に応じた個々の指導も必要である。また、昨年度激減したネットパトロール指導は、今年度はさらに減少傾向にある。</li> </ul>	
⑦ 具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、上市駅や生徒玄関前で、挨拶や服装指導などの声かけを教員だけでなく、さわやか委員の生徒と一緒にしながら、生徒主体の生徒への声かけ、意識作りを大切にしている。</li> <li>・今年度から新たに、月毎の指導重点目標を設定し、生徒が具体的な目標を持って生活できるようにした。</li> <li>・頭髪服装指導は学年毎の指導に加え、今年度から体育館での全校一斉の指導日を設定した。指導の基準合わせや全職員が一丸となって指導することで、生徒の意識を高めることができた。</li> <li>・交通安全教室、たばこ・薬物の害、性教育、着こなし教室、スマートフォン安全教室などの外部の専門家の講話を通して規範意識を高めるように指導した。</li> <li>・スマートフォンのルール違反件数は1学期減少傾向にあったが、2学期は再び増加傾向となったため、指導の経緯やルールの確認を生徒、教員と再度行い、全校生徒への指導を強化した。</li> <li>・個別懇談会において生徒の日頃の生徒指導の記録を保護者に報告し家庭でも理解や協力をお願いした。</li> </ul>	
⑧ 評 価	C	C
⑨ 学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダメなところはダメという指導も大切だが、良いところを伸ばす指導も生徒指導である。</li> <li>・スマートフォンのマナーについては、この2、3年で良くなっているという実感がある。件数より、生徒の実数を比較すると減少しているのではないかと。広く全体に向けての指導に加え、限られた生徒であれば、指導の方法も変わってくるのではないかと。</li> <li>・まず、生徒の意識が変わらないといけないので、今後も生徒をまき込み、内面の指導も大切にしてほしい。</li> </ul>	
⑩ 次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装違反、スマートフォンの使用違反に対する指導強化の継続。</li> <li>・将来を見据え、基本的な生活習慣の確立やルール・マナーを守る姿勢、我慢と思いやりの心を育てる指導。</li> <li>・遅刻常習などの原因を解明し、保護者の理解と協力を得て根本的な問題解決を図る指導。</li> </ul>	

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状のまま D: 後退した)